

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
1 人口減少対策への戦略的アプローチについて （４０分） 本市におけるこの４年間の人口の推移は、令和３年１月 69,937 人であり、令和７年１月では 69,836 人で、微増微減しながら、ほぼ横ばいの状況です。 東武東上線で本市より以北の坂戸市においては、令和３年１月 100,612 人で、令和７年１月では 95,751 人。この間微増微減はあるものの若干減少傾向になっています。東松山市では、令和３年１月 90,456 人で、令和７年１月では 91,256 人であり、同じく微増微減はあるものの、若干増加傾向の状況です。さらに以北においては、滑川町を除き、明らかに減少傾向がみられます。 東武東上線で本市より都心寄りの川越市、ふじみ野市、富士見市では、人口が増えている状況にあります。 自然減が続く現在の人口減少社会において、地理的要因が大きく影響することはやむを得ないとしても、人口減少対策として、効果的な対策を講じている自治体とそうでない自治体とでは、今後、大きな差が出てくることは明らかです。 特に顕著に人口が増加している富士見市では、首都圏３０キロ圏内、池袋まで電車で３０分以内の交通利便性を前面に掲げた「W３０」の自治体PRパンフレットなど「選ばれるまち富士見市」を目指したシティプロモーション活動。東武東上線で本市より以北において人口が増加している滑川町では、「子育てファースト滑川」と掲げて、年少人口の割合、合計特殊出生率が県内一若い町として積極的にシティプロモーション活動を行っております。 こうしたそれぞれの自治体が、地域の特色を活かしたシティプロモーション活動を政策として展開している中で、都内へ４０分の通勤通学圏内、高速道路のインターチェンジを２つ持つ交通の利便性など高いポテンシャルと地の利を有する本市においても、来年度から第６次鶴ヶ島市総合計画後期基本計画が策定され、シティプロモーション活動に力を入れていくことが期待されます。 こうしたことを踏まえて、以下質問いたします。	市 長 教育委員会教育長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
(1) 本市のこれまでの人口動態と今後について (2) 本市の転入促進策について (3) 本市の転出抑止策について (4) シティプロモーションにおける各部各課との横断的施策の連携について (5) シビックプライドの醸成による誇りと愛着の持てるまちづくりの促進について 2 自助・共助・公助、それぞれの立ち位置における防災対策について (20分) 先日、令和6年度埼玉県市議会議長会議員行政研修会で自治体防災対策と議会・議員の役割について、これまでの地震、豪雨災害などからの教訓から自治体の防災対策や自助、共助、公助の在り方などの研修を受けてきました。 本市においても、地域支え合い協議会の防災部会や自治会による自主防災組織など、市民、地域レベルでの防災意識も高くなってきています。とはいうものの、共助の担い手である自治会加入者や活動参加者の低下、そして公助の担い手である消防団員数の低下やなり手不足、さらに自治体職員数の低下など、共助、公助ともに先細りの傾向になってきているのが現実です。 こうした観点から自助、共助、公助、それぞれの立ち位置における防災対策について、以下質問いたします。 (1) 防災、減災意識の高揚に向けた啓発について (2) 災害時における避難所運営と避難所外避難要配慮者への対応について (3) 地域住民による地区防災計画や個別避難計画の必要性について (4) 自助、共助、公助、それぞれの立ち位置における防災対策について	市 長 教育委員会教育長